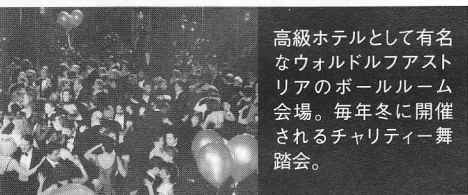




ダンススタジオ主催のダンスパーティー。スクールのフロアなので、カジュアルな雰囲気を楽しむ。



高級ホテルとして有名なウォールドフアストリアのボールルーム会場。毎年冬に開催されるチャリティー舞踏会。



ブラックブルダンスフェスティバルで4度優勝した世界のトップダンサー「ピエール・デュレイ」のスタジオ。ダンスの聖地ともいえるニューヨークでは世界各国のトップダンサーたちのレッスンが受けられる。



日本では珍しい野外ダンスパーティー。毎年7月にリンカーンセンター前の広場で行われている「Midsummer Night Swing」。サンダルや普段履くシューズなどカジュアルな格好で踊る。Swingは日本でいうジルバ。

豪華クルーズ船はダンサーが盛り上げる。アメリカ唯一の社交ダンス舞踏団「American Ballroom Theater」は各国に向かうツアーに同船して公演を行う。



間に、好きなだけレッスンが受けられるのです。そういうスタイルはほとんどがグループレッスン形式ではありますが、中には世界のトップダンサーのレッスンを多数含まれています。ジャンルも幅広く、受講者は自分の興味のままに自由にさまざまなダンスのレッスンを受けられるのです」と。

このシステムによって、ダンス愛好者の層も、30〜50代が中心になるといえる。自分の空いた時間に、まるでスポーツジムに通うようにダンススタジオに通うのだ。

ひとりの先生にずっと習うという習慣もあまりないようだ。

「生徒はいわば自由です。同じスタジオ内であっても、自分の受けた先生をどんどん変えていきます。大した理由も要りません。変えたいから変える…もちろん、スタジオ自体も数多くありますから、どんどん別のスタジオに通ったりします」とヨシ矢野先生は笑顔で話す。それが当たり前だからスタジオ側にも、講師にも何の違和感もないのだそうだ。

スタジオで毎月パーティー！ ダンスパーティーは日常茶飯事

ダンスパーティーについても、そのスタイルは日本と大きく異なるという。「世界には日常的にダンスパーティーがある国も多く、ペアダンスに特別な才能やセンスが必要だとは考えられていません。ニューヨークでも同じです」

ダンスパーティーの一般的な状況を伺うと毎月のように「ダンススタジオがスタジオ内でダンスパーティーを開いている」そうだ。料金も20〜30ドルが中心で、チャリティーダンスパーティーなど特別な場合でも50ドル〜100ドル程度。そういったパーティーでは「シューズも服装も制限はほとんどありませんから、普段着でダンスでも踊ります」

ダンスパーティーはまさに社交の場であり、カジュアルに、自由に、音楽とダンス、そして人とのコミュニケーションを楽しむものなのだ。

ちなみに、年中行事でのダンスパーティーには、様々な趣向が凝らされることもあるそうだ。ヨシ矢野先生が話してくれたパーティーの一つに、野外で行うダン

スパパーティー『真夏の夜のスイング』があった。7月中旬に1ヵ月続くダンスパーティーだそうだ。毎日違う楽団が様々なジャンルのダンスミュージックを奏で、ミニレッスンをを行い、初めての人でも、そのままダンスパーティーを楽しむのだ。リンカーンセンター（コンサートホール）前の噴水まわりに作られた特設フロアで踊るので入場料（15ドル程度）も取る。しかし、音楽は周辺にも聞こえるので会場の外側でも自然にダンスパーティーになっていくらしい。何ともお洒落で楽しいものだ。

「あちらでは、まず音楽にこだわります。いい音楽じゃないとダンスも踊りたくなくなるぐらいに」

個性的な表現力、卓越したパフォーマンスでは世界最高峰の水準にあるといわれるニューヨークでのダンス環境には、規則や規定でガチガチに凝り固まったルールではなく、カジュアルなスタイルで、よりステキな音楽を聴きながら、リラックスしてダンスを踊るという「世界中の誰もが自由にダンスを楽しむ」ためのルールがしっかりと根づいているようだ。

アメリカンスタイルの 社交ダンスを 学びたい人に

ヨシ矢野さんが主宰する『ジャパニーズシャルダンスクラブ』では、本文で紹介したようなアメリカンスタイルのダンスレッスンを受けられる。チケット制度も、プログラムも、すべてアメリカンスタイル。ニューヨークに行かなくても、渋谷と大塚にある『ジャパニーズシャルダンスクラブ』のスタジオで、アメリカンスタイルのダンスが体験できるのだ。ミニレッスン付きのカジュアルなダンスパーティーも開催されるので、ぜひお試しあれ。